

市町村名		久米島町										
平成25年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】												
事業番号・事業名	1 - 海洋深層水冷熱利用野菜栽培実証事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-キ							
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24-25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	-1-(6)						
事業内容	久米島の地域資源である海洋深層水の冷熱利用により、既に確立された夏場の野菜栽培技術の商用化に向けた実証実験を行うため、冷熱利用野菜栽培ハウスの整備を行う。											
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()											
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度		24年度(繰越)		25年度		25年度(繰越)		26年度		
		(a)当初予算額	8,700	-	-	46,047	-					
		(b)予算現額	8,700	-	-	46,047	-					
		(c)増減額(b-a)	0	-	-	0	-					
		(d)繰越額	-	8,700	8,700	0	46,047					
		A.計(b+d)	8,700	8,700	8,700	46,047	46,047					
		B.執行済額	0	2,549	0	0	45,415					
		うち交付金充当額	0	2,039	0	0	36,332					
		次年度繰越額	8,700	-	-	46,047	-					
		執行率(%) (B/A)	0.0%	29.3%	0.0%	98.6%						
予算の状況の説明		・栽培品目の選定及び施設設置場所の施設使用許可に不測の日数を要したため46,047千円を次年度に繰り越した。 ・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。										
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況									
			24年度	25年度	26年度	27年度						
	冷熱利用野菜栽培ハウスの整備(2棟)	目標	(施設整備及び運営計画の策定)	(ハウス整備2棟)	()	()						
		実績	施設整備及び運営計画の策定	ハウス整備3棟								
			目標	()	()	()	()					
			実績									
達成状況説明		・海洋深層水の冷熱利用により、既に確立された夏場の野菜栽培技術の商用化に向けた実証実験を行うため、冷熱利用野菜栽培実証施設3棟(ハウス3棟、内設備2棟分)を整備した。										
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)					
	冷熱利用野菜栽培ハウスの整備(2棟)	目標	()	(施設整備及び運営計画の策定)	(ハウス整備2棟)	()	()					
		実績		施設整備及び運営計画の策定	ハウス整備3棟							
			目標	()	()	()	()					
			実績									
	進捗状況説明		・ハウス3棟(設備2棟分)を整備したことにより、実証事業を開始することができた。									

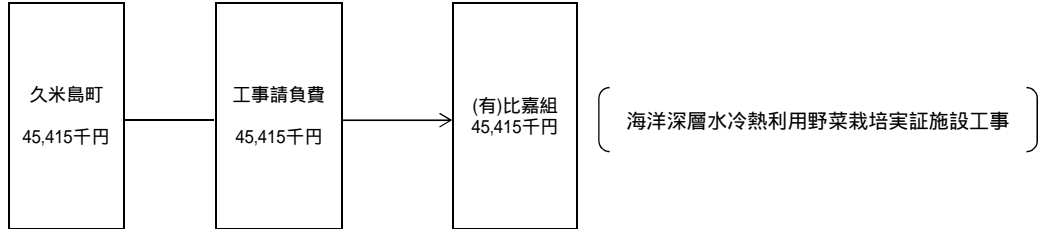
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ハウス3棟を整備したが内1棟分の設備は、今回整備した栽培ベッド装置を検証した後整備するため、平成27年度事業で取り組む予定である。 ハウスからの雨水により、周辺環境が悪いため排水対策が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 残り1棟分の設備を設置し、施設を完成させる。 排水対策の為、周辺の付帯工事に取り組む。

今後の取り組み方針

平成27年度事業において、残り1等分の栽培室(A棟330㎡)の栽培ベッドの整備と雨水対策の周辺付帯工事に取り組む、施設整備を完了させる。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
45,415	45,415	36,332	9,083	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	請負業者は指名競争入札により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 予算規模については不用額は632千円であり、適正な規模であったと考えている。 費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	久米島町
------	------

平成25年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1 - 久米島町循環型農業促進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ウ
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成25～27年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産物の安全・安心の確立 - 1 - (6)

事業内容 本町の地域資源を有効活用した循環型農業の構築を促進するため、堆肥の主原料である「バガス」の品質低下を防ぐ原料庫の整備、堆肥袋詰め機や運搬車輛の整備等を行い、町営堆肥センターの生産性の向上を図り生産ラインの機能強化を行う。

実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他 ()
------	------	----	----	----	---------

		25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	17,174	-		
		(b)予算現額	26,880	-		
		(c)増減額(b-a)	9,706	-		
		(d)繰越額	-	15,917		
		A.計(b+d)	26,880	15,917		
		B.執行済額	10,963	15,631		
		うち交付金充当額	8,770	12,505		
		次年度繰越額	15,917	-		
		執行率(%) (B/A)	40.8%	98.2%		
		予算の状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> 関係者との調整により排水計画を見直したことで工事費9,706千円を増額した。 工事施工箇所について、関係機関との調整に不測の日数を要したため、15,917千円を次年度に繰り越した。 不用額286千円は、袋詰め機導入を次年度以降の取り組みとしたことによる備品購入費の減額である。 堆肥センターの生産性向上を図るには堆肥製造資機材の導入が必要となったため、事業実施(予定)年度を平成25年度の単年度から平成27年度まで延長した。 			

H25活動目標(指標)		達成状況				
		25年度	26年度	27年度	28年度	
原料庫実施設計	目標	(実施設計)	()	()	()	
	実績	実施設計の実施				
原料庫建築工事	目標	(建築工事)	()	()	()	
	実績	建築工事の実施				
袋詰め機(1台)の導入	目標	(1台)	()	()	()	
	実績	未実施				
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 袋詰め機導入は、袋詰め機の規格や機能など機種選定に時間を要したため次年度以降の取り組みとした。 堆肥の主原料である「バガス」の品質低下を防ぐため、原料庫の実施設計及び建築工事を実施した。 					

H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
原料庫実施設計	目標	()	(実施設計)	()	()	()
	実績	実施設計				
原料庫建築工事	目標	()	(建築工事)	()	()	()
	実績	建築工事				
袋詰め機の導入	目標	()	(実施)	()	()	()
	実績	未実施				
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 袋詰め機導入は、袋詰め機の規格や機能など機種選定に時間を要したため次年度以降の取り組みとした。 原料庫は平成26年6月末で整備が完了し、平成26年7月から共用開始され、堆肥センターの生産性向上に寄与するとともに循環型農業の拠点施設として運営している。 					

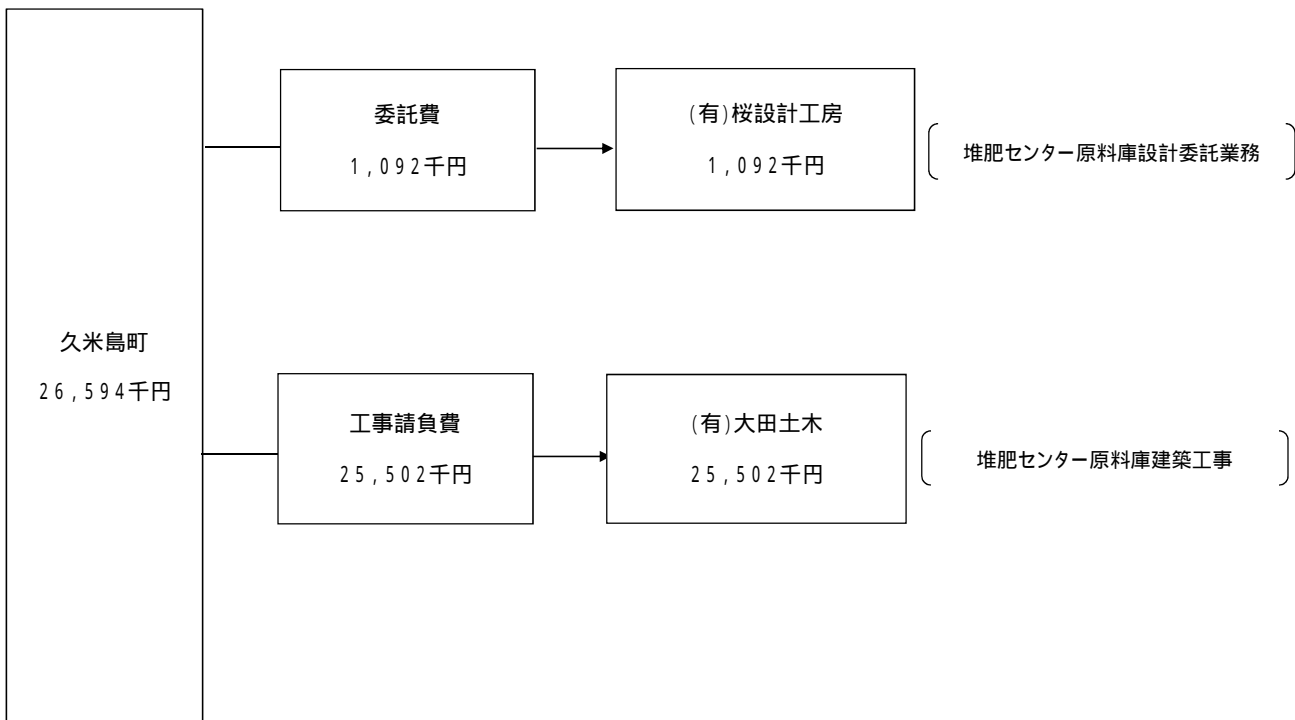
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	今回、原料庫を整備したことにより、水分調整剤であるバガスを風雨より防ぐことが可能となり、堆肥の生産性体制が強化された。しかし、畜産農家(牛農家)より牛糞を回収する際、堆肥センター所有のタイヤシャローにて現場へ向かうので、時間的にコストがかかったり、農家より堆肥を屯袋(500kg入り)で販売してほしいと要望があるが、運搬車両がない等課題がある。	堆肥の生産については、牛糞の回収方法や堆肥の運搬方法に課題があるため、今後は運搬車両等の機能拡充を図っていく必要がある。

今後の取り組み方針

平成26年度7月より供用開始しており、今後も製糖工場及び各農家(さとうきび、野菜、花卉、畜産)等、関係機関と連携を密にし、堆肥の生産性向上に努めることで地力の向上を促進し、かつ循環型農業の拠点として運営していく。
堆肥の原料であるバガス(水分調整剤)はさとうきびの副産物であり、台風の襲来等、年によってはさとうきびの不作によりバガスが不足する可能性もあるため、引き続き生産性向上の取り組みを強化する必要がある。また牛糞の回収や堆肥の運搬での課題に対応するため、今後は運搬車両の導入も行っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
26,594	26,594	21,275	5,319	0



資金の流れ、費目・使途の流点検証・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	請負業者は指名競争入札により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 予算規模は原料庫建築に係る経費であり、適正な規模であったと考えている。 費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		久米島町					
平成25年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5 - 球美の島エコアイランド化推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(3)-ア		
担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度	平成24～27年度		沖縄振興基本方針該当箇所	地球温暖化防止対策の推進 - 11 - (3)	
事業内容	低炭素島しょ社会の実現と自然豊かな環境に配慮した島づくりの推進を図るため、町内に設置されている水銀街灯のLED化事業等を実施する。						
実施方法	直接実施		委託	補助	負担	その他 ()	
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度
		(a)当初予算額	73,479	-	38,472	-	
	(b)予算現額	73,479	-	35,094	-		
	(c)増減額(b-a)	0	-	3,378	-		
	(d)繰越額	-		66,864	0	6,970	
	A.計(b+d)	73,479	66,864	35,094	6,970		
	B.執行済額	6,615	66,341	28,124	6,970		
	うち交付金充当額	5,292	53,072	22,499	4,542		
	次年度繰越額	66,864	-	6,970	-		
	執行率(%) (B/A)	9.0%	99.2%	80.1%	100%		
予算の状況の説明	・関係者との調整により器具取付箇所を見直したことで工事費3,378千円を減額補正した。 ・機種を選定及び仕様書作成に不測の日数を要したため、工事費及び委託費に係る6,970千円を次年度に繰り越した。 ・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	久米島町内全域に設置されている水銀街灯をLED街灯へ移行する。	目標	(委託・工事)	(LED街灯へ移行)	()	()	
		実績	委託・工事	LED街灯へ移行			
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	・平成25年度中に久米島町内の既設水銀灯現況調査・設計を行い、水銀灯約1650本のうち、551灯(・24年度310灯、・25年度241灯)をLED灯に移行した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	各地域の設置要望が高い箇所から順次、水銀街灯からLED街灯へ移行工事を実施する。	目標	()	(委託・工事)	(工事の実施)	()	()
		実績		委託・工事	工事の実施		
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	・当初計画していた整備目標灯数である210灯の整備を完了しており目標を達成できたと共に、水銀灯から241灯(累計551灯)をLEDへ移行できたことで消費電力の削減及びCO2の低減が図られた。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> LED灯は設置箇所確定作業に時間を要したが、地域の要望に応えることができた。 LED灯具には多数のメーカーが存在しており、その商品には同等品と位置づけられているものの、その能力や価格には大幅な差があり選定の基準となる経済比較を行う際に時間を要した。 	<ul style="list-style-type: none"> LED灯への移行を計画的に実施し消費電力の削減及びCO2削減を図る。 整備を円滑に進めるためLED灯具の選定作業に迅速に取り組む。

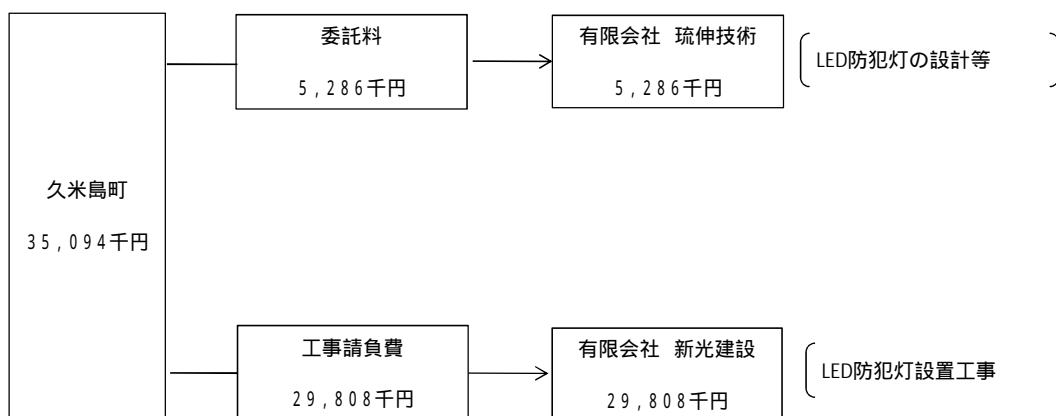
今後の取り組み方針

引き続き水銀灯からLED灯へ早期移行を行いCO2削減を推進する。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
35,094	35,094	27,041	8,053	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者・施工業者は指名競争入札により企業組織、実績、知識等を助案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 不用額は無く適正な規模であった。 費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	久米島町
------	------

平成25年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5 - 球美の島緑化推進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(1)-イ
担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度	平成24～26年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	陸域・水辺環境の保全 -10-(1)

事業内容	久米島に自生している花や花木(クメノサクラ、ツツジ、椿、ショウキズイセン等)の保全を図るために、島の在来花木を年中楽しむことができる公園整備を実施する。					
------	--	--	--	--	--	--

実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他 ()
------	------	----	----	----	---------

		24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	56,353	-	50,000	-
		(b)予算現額	56,353	-	47,138	-
		(c)増減額(b-a)	0	-	2,862	-
		(d)繰越額	-	44,765	0	28,615
		A.計(b+d)	56,353	44,765	47,138	28,615
	B.執行済額		11,588	13,061	18,523	28,538
	うち交付金充当額		9,270	10,449	14,818	22,830
	次年度繰越額		44,765	-	28,615	-
	執行率(%) (B/A)		20.6%	29.2%	39.3%	99.7%
	予算の状況の説明		<ul style="list-style-type: none"> ・工事施工箇所を見直したことで工事費2,862千円を減額補正した。 ・用地取得に不測の日数を要したため、工事費に係る28,616千円を次年度に繰り越した。 ・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。 			

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度
		球美の島緑化公園予定地内ツバキ・ツツジゾーン工事の実施	目標 (実施)	()	()	()
	実績	一部実施				
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度は公園のサクラ及びツツジゾーンの造成工事を行った。 ・ツバキゾーンについては、地元から他花木植栽の要望があり再検討する必要が生じたため実施できなかった。 					

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)	
		球美の島緑化公園予定地内ツバキ・ツツジゾーン工事の完了	目標 ()	(実施)	()	()	()
			実績	一部実施			
			目標	()	()	()	()
	実績						
進捗状況説明	サクラ及びツツジゾーンの造成工事を行ったが、ツバキゾーンについては、地元からの要望による計画変更が生じたため取り組みができなかった。早めに花木を選定し造成工事に取り組む。						

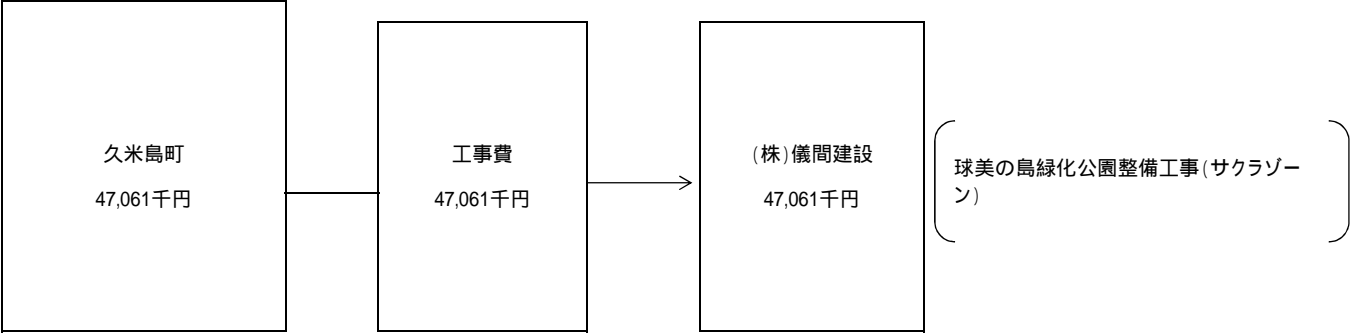
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・地元から他花木の植栽の要望による計画の再検討が必要となったため、ツバキゾーンの造成工事ができなかった。 ・想定を上回る水量により赤土対策の沈砂池からのオーバーフローがあったため、再検討が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・花木の選定を早めに決定し造成工事を実施する必要がある。 ・沈砂池の容量計算を見直しなど対策を講じる必要がある。

今後の取り組み方針

・ツバキゾーンの花木の選定を早めに決定し、造成工事に取り組む。
 ・赤土対策等自然環境に配慮した整備を行う必要がある。
 ・久米島に自生している花や花木(クメノサクラ、ツツジ、椿、ショウキズイセン等)の保全を図ることに加え、島の在来花木を年中楽しむ事ができる公園整備を行う必要がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
47,061	47,061	37,648	9,413	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	工事業者は指名競争入札により企業組織、実績、知識等を助案した上で選定しており、妥当であると考えている。 不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 費目・使徒については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名 久米島町

平成25年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

Table with 4 columns: 事業番号・事業名 (5 - 環境美化促進事業), 沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 (第3章-1-(2)-イ), 担当部課名 (環境保全課), 事業実施(予定)年度 (平成24~33年度), 沖縄振興基本方針該当箇所 (-10-(1))

事業内容 本町の海岸線に漂着する漂着ゴミや観光地の美化作業後の草木等の回収、処理体制の強化を図り豊かな自然環境を保全するため、回収した漂着ゴミ等を処理場へ運搬するために必要な車両等を購入する。

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

Table with 7 columns: 25年度, 25年度(繰越), 26年度, 27年度, 28年度. Rows include: 予算額・執行額 (a)当初予算額, (b)予算現額, (c)増減額, (d)繰越額, A.計(b+d), B.執行済額, うち交付金充当額, 次年度繰越額, 執行率(%)(B/A), 予算の状況の説明

Table with 5 columns: 25年度, 26年度, 27年度, 28年度. Rows include: H25活動目標(指標), 達成状況, 活動目標(指標)及び達成状況 (運搬車両導入, 塵芥車両, 4トンクレーン付きダンプ車両, 2トンダンプ車両), 達成状況説明

Table with 7 columns: 基準値(年度), 25年度, 26年度, 27年度, 目標値(年度). Rows include: H25成果目標(指標), 成果目標(指標)及び進捗状況 (運搬車両導入, 塵芥車両, 4トンクレーン付きダンプ車両, 2トンダンプ車両), 進捗状況説明

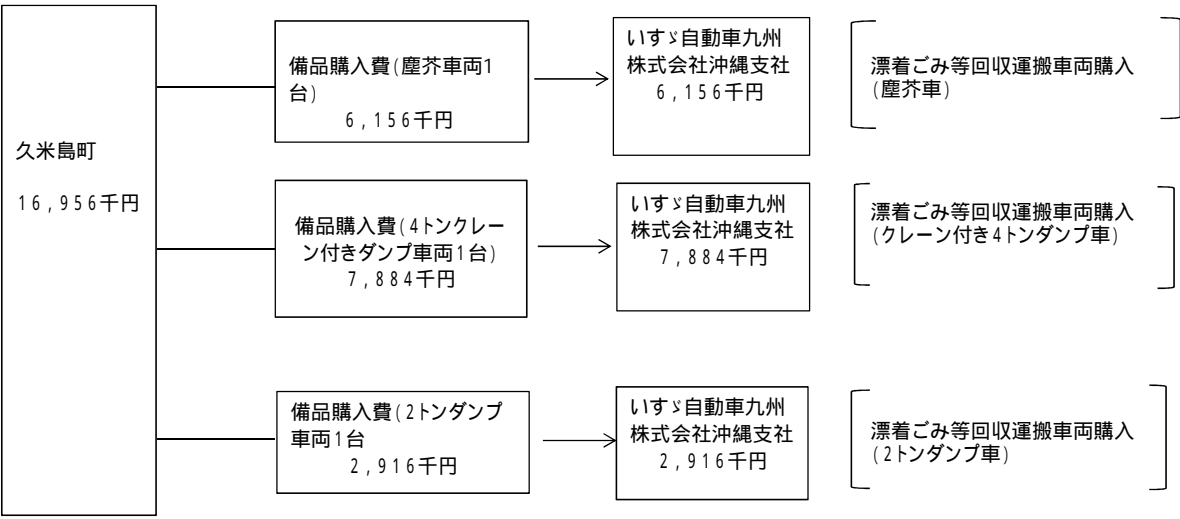
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	自然環境保全するため、海岸線の漂着ゴミや観光地の美化作業後の草木等の回収処理体制の強化を図るため、必要な3台の車両を購入した。 車両導入により、より質の高い自然環境の保全及び海岸線の管理、観光地等の美化作業を進めることが可能になった。 今後は効率的な運用と適正管理が必要である。	導入車両の特性を生かし海岸の大型漂流物等、観光地の草刈り等及び関連する道路の清掃活動回数を増やす等効率的な運用に努める。 車両の定期的な管理や管理責任者を配置し適正管理に努める。

今後の取り組み方針

海岸線漂着ゴミ回収、観光地、公園等及びそこに通じる道路沿いの美化清掃作業、町内の危険枯れ木等の除去に対して環境美化作業班と連携し、環境保全をより強化する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
16,956	16,956	13,564	3,392	0

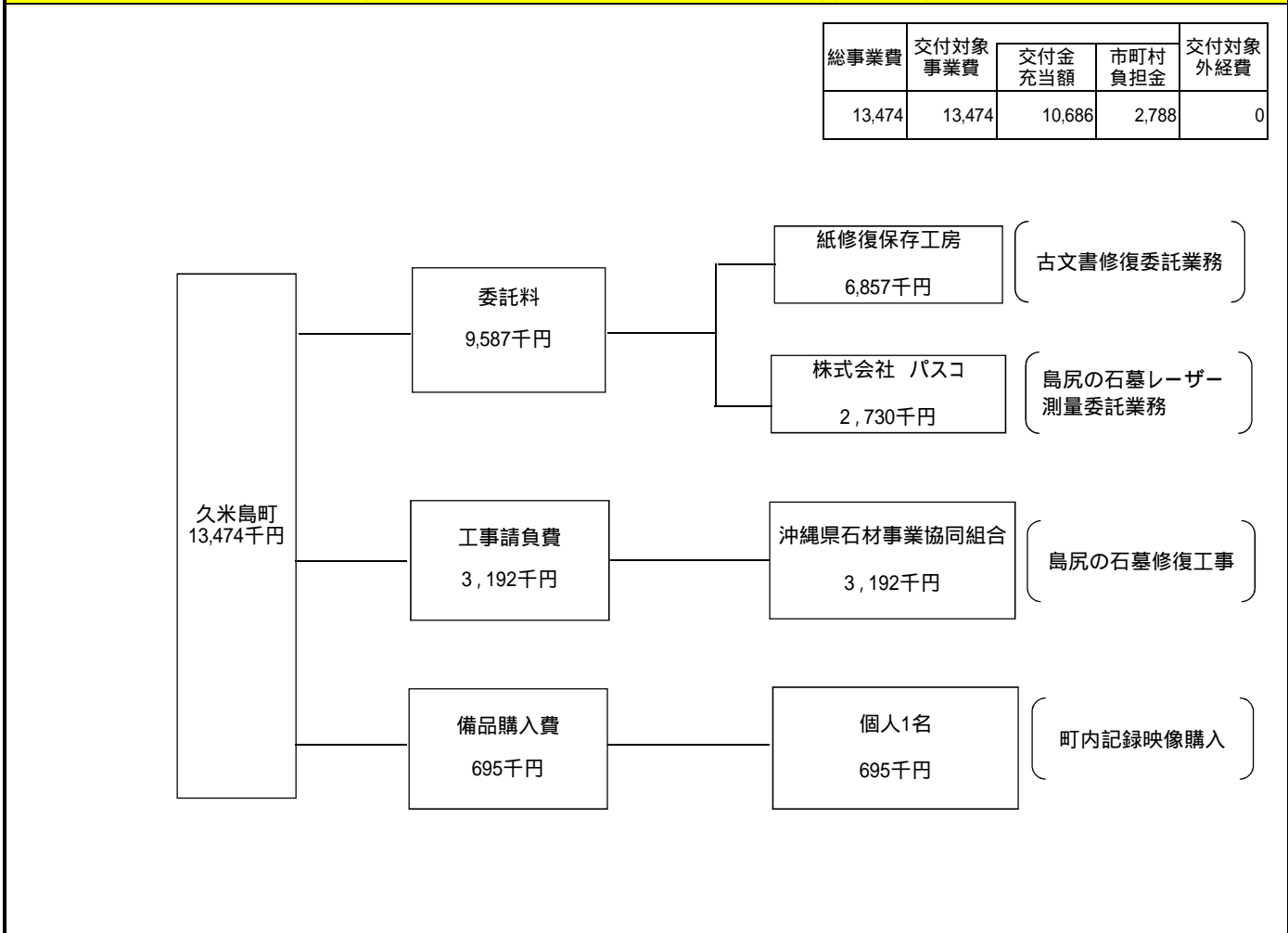


資金の流 れ、費 目、 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	請負業者は指名競争入札により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 予算規模については不用額は300千円であり、適正な規模であったと考えている。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		久米島町					
平成25年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6 - 文化遺産保存活用事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(4)-ア		
担当部課名	久米島博物館	事業実施(予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり -3-(2)	
事業内容	豊かな自然とともに、数多く残されている地域色豊かな歴史文化等の文化遺産を活かした観光振興を図るため、町指定文化財である石墓の調査及び修復整備や古文書(博物館資料)の修復、町内行事映像記録の収集等を行う。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度
	予算の状況	(a)当初予算額	2,587	15,111	-		
		(b)予算現額	2,721	13,474	-		
		(c)増減額(b-a)	134	1,637	-		
		(d)繰越額	-	-	2,019		
		A.計(b+d)	2,721	13,474	2,019		
	B.執行済額		2,721	11,455	2,019		
	うち交付金充当額		2,176	9,164	1,522		
	次年度繰越額		0	2,019	-		
	執行率(%) (B/A)		100.0%	85.0%	100.0%		
予算の状況の説明		・鳥類剥製資料製作は冷凍個体の数が少なく次年度の取り組みとしたことで、当初予算から1,637円を減額補正した。 ・古文書修復については、古文書の状態が芳しくなかったことから修復・翻刻に時間を要したため、委託料2,019千円を次年度に繰り越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	古文書翻刻丁数:1,000丁	目標	(1,000丁)	()	()	()	
		実績	1990丁				
	古文書修復マイクド撮影件数:1,500丁	目標	(1,500丁)	()	()	()	
		実績	1990丁				
	文化遺産(島尻石墓)修復・記録保存 1件	目標	(1件)	()	()	()	
		実績	1件				
	鳥類剥製資料制作 51体	目標	(51体)	()	()	()	
		実績	未実施				
町内記録映像取得 50件	目標	(50件)	()	()	()		
	実績	316件					
達成状況説明		・古文書資料の修復事業は、1,990丁を修復、翻刻した。 ・文化遺産(島尻石墓)修復・記録保存については、3次元レーザー測量により詳細に記録保存したほか、専門業者により修復整備を行った。 ・鳥類剥製資料製作は必要な冷凍個体数の収集・確保ができなかったため、冷凍個体を確保できる次年度の取り組みとした。 ・町内記録映像取得においては、316件の映像を購入した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	古文書翻刻丁数:1,000丁	目標	()	(1,000丁)	()	()	()
		実績		1990丁			
	古文書修復マイクド撮影件数:1,500丁	目標	()	(1,500丁)	()	()	()
		実績		1990丁			
	文化遺産(島尻石墓)修復・記録保存 1件	目標	()	(1件)	()	()	()
		実績		1件			
	鳥類剥製資料制作 51体	目標	()	(51体)	()	()	()
		実績		未実施			
	町内記録映像取得 50件	目標	()	(50件)	()	()	()
実績			316件				
進捗状況説明		・古文書資料の修復事業は、年次的な修復計画を作成し、劣化が進み状態の良くない資料の把握に努めるとともにこれらを優先的に修復していきたい。 ・島尻の石墓修復・記録保存については、3次元レーザー測量により詳細に記録保存したほか、復元整備を実施し目標を達成した。 ・鳥類剥製資料製作は必要な冷凍個体数の収集・確保ができなかったため、冷凍個体を確保できる次年度の取り組みとした。 ・町内記録映像取得については、当初50件の予定であったが、316件の映像を購入した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・当初の予定より劣化の著しい資料があり、修復に時間を要し、履行期間の延長が生じた。 ・本町島尻地域でしか見られない島尻の石墓を3次元レーザー測量により記録保存した他、修復整備中に行われた調査で、内部構造を把握できるなど、貴重な情報を得ることができた。古墓を修復できる石工が沖縄本島内にも少ないことが課題のため、今後文化財修復など伝統技術の継承が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予定より修復に時間を要する場合を想定し、履行期間に余裕をもつ必要がある。 ・今回得られた貴重な情報(レーザー測量及び内部構造調査)発信や事業成果を積極的に公開活用する。 ・古墓などの文化財修復経験のある技術者は少なく、沖縄本島内でも施工業者は限られているため、国、沖縄県に働きかけて古墓をはじめ石造文化財の整備活用を通して石工の技術研修の機会を増やし、継承を図る必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・対象となる歴史文化遺産の現況を正確に把握した上で、修理・活用計画を立案し、早期に事業執行する必要がある。 ・成果品については、適正な保存・管理に努めつつ、展示会や学術利用に寄与するなど利活用を図っていく。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	古文書修復委託業者は特殊な業務内容であったため随意契約であったが、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 その他の委託及び工事請負業者は指名競争入札により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており妥当であったと考える。 備品購入については、著作権等、排他的権利を有する事業であることから随意契約とし、妥当であったと考えている。 不用額は無く適正な規模であった。 費目、用途については目的に即し、必要なものであったと判断した。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	